

ライトボアアップ KIT 63cc for JOG/ZR No.1/2	商品コード：212-0089000
適合車種	
ジョグ (SA36J) /-DX/-ZR (SA39J) 3P31 ~ 9/B/C/D/E/F/G/H/J (2007 ~ 2015年2月発売) ジョグ/プチ (SA55J) /-DX/-ZR (SA56J) 3P3/K/L/M/N/U/V/W/X (2017年1月発売まで) ジョグ-DX/-ZR (SA58J) 3P3S (2017年8月発売) ※ジョグ/プチ (SA57J) は不可 *大容量インジェクターは使用できません	
備考	
エンジン本来の性能を最大限に引き出す為、別売のインジェクションコントローラー (i-map) をご使用下さい。 ○ジョグ /-DX/-ZR (SA36J/SA39J) 2007 ~ 2015年2月発売モデルについて インジェクションコントローラー (i-map) Ver.3.0 をご使用下さい。Ver.1.0 をご使用の場合は、(別売) PC インターフェイスケーブルを使用して当社ホームページ (http://www.kitaco.co.jp) のダウンロードサービスよりボアアップ対応 (ノーマルインジェクター用) マップをインストールして下さい。またノーマルインジェクター/大容量インジェクター両対応の Ver.3.0 へは当社にて有償でアップグレードが可能です。 ○ジョグ/プチ /-DX/-ZR (SA55J/SA56J/SA58J) 2015年10月以降発売のモデルも専用のインジェクションコントローラー (i-map) をご使用下さい。	
i-map の使用に合わせて、大容量インジェクター (ヤマハ純正) が使用可能です。(詳細はオプションパーツ製品概要へ) *ジョグ-DX/-ZR (SA58J) 3P3S (2017年8月発売) のモデルに大容量インジェクターは使用できません。	
吸気系には、別売のスーパーフィルターをご使用される事をお奨めします。	

- この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。
 - 装着には当製品の他に、各種専用工具が別途必要です。
 - 装着後も当用紙をセッティングマニュアルとして、ご使用下さい。
- ※補修用部品パーツについては説明書が入っていませんので、この説明書は大切に保管して下さい。

■製品、装着についての注意 (必ずお読み下さい)

- このパーツはレース専用部品となり保障対象外となります。組み込んだ車両での一般公道走行はできません。組み立てミス、セッティング不良による事故、パーツの破損等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい。
- このパーツを装着することにより、吸排気系のセッティングが必要な場合がございます。セッティングがそのままの状態で行くと、パワーアップできないばかりか、焼き付き、破損等の原因にもなります。必ずエンジンに見合ったセッティングを施して下さい。
- 取付説明書の手順通りに正しく取付をおこなって下さい。又、記載されている追加加工以外の加工はしないで下さい。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- エンジンオイルはならし運転終了後(約100km)、必ず新品のエンジンオイルに交換して下さい。(推奨エンジンオイル:elf MOTO4 プロテック)
- エンジンの振動により、ボルト、ナット類が緩む可能性があります。走行前には必ず、各部のボルト、ナット類の締め具合を確認して下さい。
- 各部パーツを必ず、洗油 (パーツクリーナー等) で洗浄し、オイルライン系の詰まり等が無い、エアアダプター等を使用して、必ず確認して下さい。
- パーツ各部を組み立てる際に必ず、使用されるエンジンオイルを塗布しながら作業を行って下さい。
- このパーツを装着することにより、出力特性がノーマルと異なりますので、その出力に見合ったブレーキの強化、操縦安定性の向上等を施し、十分注意してライディングして下さい。
- スパークチェックの為、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は、絶対に行わないで下さい。引火し、爆発しますのでご注意ください。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を行って下さい。

	当用紙はオートバイ整備の基本的な知識を持った方を対象としています。技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないで下さい。		十分な換気をして下さい。作業中は揮発性の高いガソリンを使用します。長時間密閉された室内で作業をしますと身体に有害です。		火気厳禁 作業中は引火性の非常に高いガソリンを使用しますのでタバコ等は厳禁です。
	お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社まで、ご連絡下さい。		エンジン作動中、作動後はシリンダーやクランクケース、エキパイ等が大変高熱になっていますので、不用意にふれてはいけません。		スパークチェックの為、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は、絶対に行わないで下さい。引火し、爆発しますのでご注意ください。

仕様緒元	必要工具及び補修パーツ
<ul style="list-style-type: none"> ●排気量：63.17cc [ボア] 43X [ストローク] 43.5 ノーマルサイズ ●圧縮比 11.7 : 1 (ノーマル 12 : 1) ●バルブタイミング角度 (設計値) IN バルブ：OPEN 12° BTDC / CLOSE 53° ABDC EX バルブ：OPEN 50° BBDC / CLOSE 18° ATDC 1mm リフト時参考値 ●バルブクリアランス標準値 IN バルブ：0.10 ~ 0.16mm EX バルブ：0.18 ~ 0.24mm 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種一般工具 ●シクネスゲージ (市販品) ●ユニバーサルホルダー (674-0500000) プライマリーシブ (クランク) の回り止めに使用します。

■製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は同様、同数の新しい製品とお取り替え、又は無償修理致しますが、それに伴う故障、破損、事故等についてのパーツ代金、整備費用の代償はご容赦下さい。

231113 M-T
 〒 577-0015
 東大阪市長田 3-8-13
 TEL.06-6783-5311 (代)
 株式会社 **キタコ**
 株式会社 **キタコ**
 FAX.06-6782-0740

組み付けにあたって、必ず下記の注意事項を守って下さい

- ⚠ 純正パーツを使用する前に各パーツの基準値及び、使用限度を必ず点検して下さい。摩耗や破損がある場合は新品の純正パーツをご使用下さい。また新品のシリンダーでも歪んでいる場合があります。その場合、下記に従って調整を行って下さい。点検せずに組み付けるとエンジントラブルの原因となります。

シリンダーヘッド/シリンダー合わせ面

シリンダーとシリンダーヘッド合わせ面の歪みを、ストリートエッジ、シクネスゲージ等を使用し点検してください。歪みが生じている場合は定盤にサンドペーパーを置き、合わせ面を8の字を書くように動かし研磨してください。※研磨は最小限に留めておくこと。

合わせ面歪み測定 シリンダーヘッド面研磨 シリンダー面研磨

パッキングリスト ※ () 内の個数は1SETの内容数				
図記号	パーツ名	商品コード	個数	備考
A	ハイカムシャフト	300-0089000	× 1	ノーマルヘッド製品誤差により、スプリングシート座面部の干渉を回避する為の加工が必要な場合があります。
B	Φ 43 メッキシリンダー	311-0089701	× 1	
C1	Φ 43 ピストン (LIGHT)	351-0089100	× 1	
C2	Φ 43 ピストンリング 3R (0.8-0.8-1.0)	352-0006430	× 1	
C3	ピストンピン 10 × 33	353-0001033	× 1	
D ↓	パッキン SET (Φ 43)	960-0089300	× 1	
D1	ヘッドガスケット (Φ 43)	961-0089300	(× 1)	
D2	EX ガスケット (Y-14)	70-963-10014	(× 1)	
D3	ベースパッキン (Φ 43)	962-0089300	(× 1)	
D4	テンションナーガスケット	966-0084002	(× 1)	
D5	ピストンピンクリップ 10mm	354-0000100	(× 2)	

オプションパーツ (必要に応じて別途お買い求め下さい)

	パーツ名	商品コード	備考	
吸気系	スーパーパワーフィルター JOG 用 全4色	515-0089350 ~ 0089355		
排気系	GPR マフラー (M1 タイプ) O2 センサー対応	548-0092310	(SA56J/SA58J) 2015年10月以降発売モデル	
電装・駆動系	パワーパック ("i-map" + パワードライブ kit)	230-0088950	(SA36J/SA39J) 2007 ~ 2015年2月発売モデル	
		230-0091900	(SA55J/SA56J) 2015年10月 ~ 2017年1月発売モデル	
電装系	i-map カブラーオン SET (3P31 ~ 9他)	763-0089100	(SA36J/SA39J) 2007 ~ 2015年2月発売モデル	
		(3P3K他)	763-0091100	(SA55J/SA56J) 2015年10月 ~ 2017年1月発売モデル
		(3P3R/S)	763-0093100	(SA58J) 2017年8月以降発売モデル
駆動系	ハイギア KIT 減速比 (N : 3.692 → 3.357)	305-0089210		
	elf MOTO4 プロテック	5w40	968-2000021	
その他	大容量インジェクター	(ヤマハ純正品番)	4P9-13930-01 (SA36J/SA39J) 2007 ~ 2015年2月発売モデル	
			5D7-E3770-00 (SA55J/SA56J) 2015年10月 ~ 2017年1月発売モデル	

オプションパーツ製品概要

インジェクションコントローラー (i-map) の特性
 FI (燃料噴射) 車のチューニング時の燃料噴射量を調整できるセッティングツールです。F1 車チューニングには必須のアイテムです。
 ○推奨燃調マップを簡単にスイッチで切替：弊社チューニングパーツ装着時の推奨燃調マップを選択することができます。
 ○回転リミッター解除装置を搭載 ※解除できるのは燃料噴射カットに伴うリミッターです。点火カットは解除できません。
 ○ユーザーオリジナルマップ領域を搭載：パソコン接続し、"Fuel Manager" ※を使用することにより、回転数 / アクセル開度毎にノーマルの燃料噴射量に対して、± 40% の補正値を設定することができます。※ Fuel Manager : i-map 専用燃調マップ読み書きソフトウェア。

大容量インジェクター (ヤマハ純正品番) について
 インジェクションコントローラー (i-map) の MAP 設定によっては、ノーマルインジェクターの調整範囲の限界付近を使用していますので、これ以上の調整 (増量) が困難です。ノーマルインジェクターで調整しきれない場合は、ノーマルインジェクターに比べ、吐出量が大幅にアップする大容量インジェクターに交換することによって、大きな調整範囲が確保出来ます。大容量インジェクターは別途 YAMAHA 純正品をご購入下さい。ノーマルインジェクター = 2 個穴・大容量インジェクター = 6 個穴 (同じ穴数でも、品番の異なるインジェクターでは正確な噴射が出来なくなります)

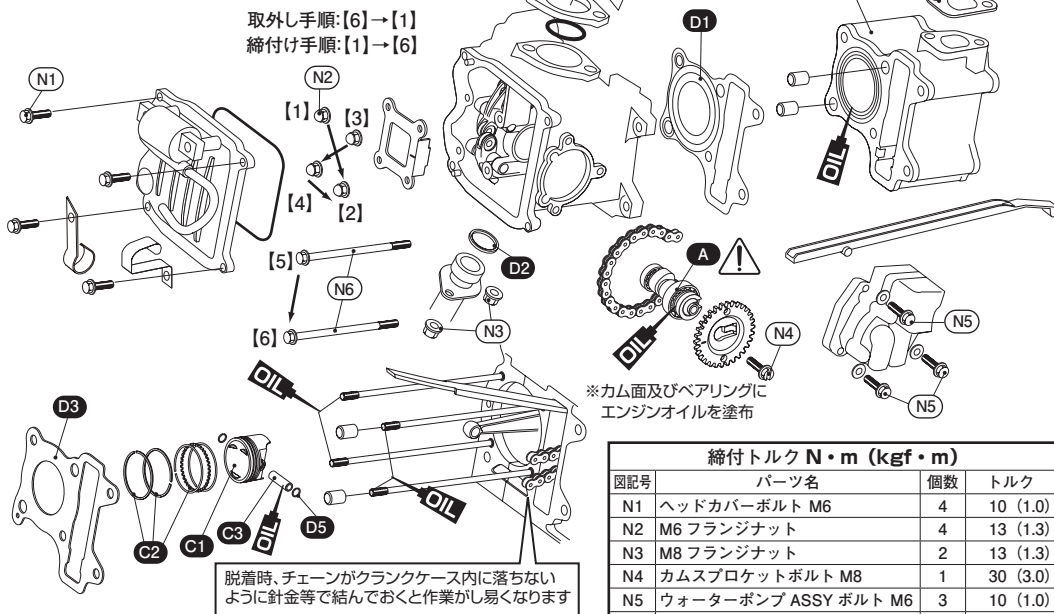
インジェクションコントローラー (i-map) についての注意

吸排気ポートの加工及び、燃焼室加工を行うと i-map にプレインストール (設定済み) のマップでは対応できません。その場合はユーザー設定マップ領域でオリジナルマップを作製して下さい。

■シリンダーヘッド&シリンダー部のパーツ

付属されていないパーツは基本的にノーマルパーツを再使用します。
再使用するパーツに傷、へたり、摩耗等の劣化が著しい場合は新品と交換して下さい。

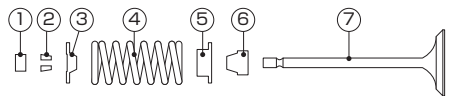
注意マークは表の備考覧、詳細事項参照
 OIL マークは使用するエンジンオイルを塗布



取外し手順：[6]→[1]
締付け手順：[1]→[6]

※カム面及びベアリングにエンジンオイルを塗布

脱着時、チェーンがクランクケース内に落ちないように針金等で結んでおくとう作業がし易くなります



図番号	パーツ名	図番号	パーツ名
1	アジャスティングパッド	5	バルブスプリングシート
2	バルブコッター	6	バルブステムシール
3	バルブスプリングリテーナー	7	IN/EX バルブ
4	バルブスプリング		

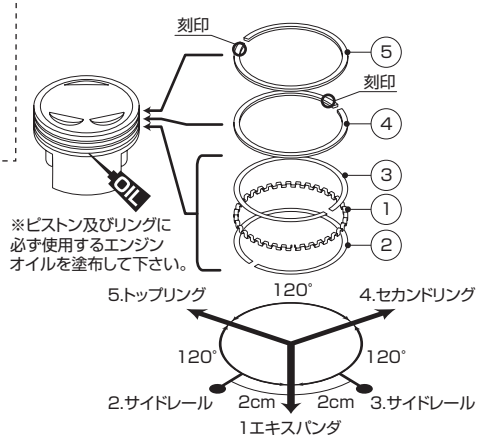
ピストンリングの取り付け

ピストンリングを図の様に取付けます。

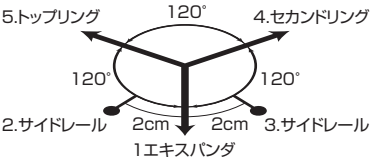
●POINT

- リングの合い口を図の様に振り分けて下さい。
- トップリング、セカンドリングは刻印がある方を上向き（ヘッド向き）に
- エキスパンダ及び、サイドレールには上下の向きはありません。

番号	パーツ名称	個数
1	エキスパンダ	× 1
2/3	サイドレール（上下共通）	× 2
4	セカンドリング（黒色）	× 1
5	トップリング（白色）	× 1



※ピストン及びリングに必ず使用するエンジンオイルを塗布して下さい。



カムシャフト、スプロケットの脱着方法

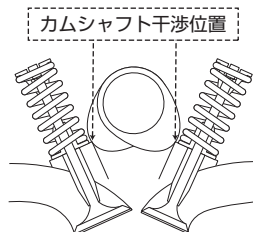
カムシャフトの取り外し

- 1) シリンダーヘッドカバーを取り外します。
- 2) プライマリーシープを反時計方向に回転させ、ローターの合いマーク「I」とクランクケースカバーの合わせマークを一致させ、圧縮上死点の位置にします。この時、カムシャフトスプロケットの合いマークがシリンダーヘッド（プレート）の合わせマークに揃っている事を確認します。
- 3) クランクシャフトを固定して、カムシャフトスプロケットボルトを緩めます。
- 4) カムチェーンテンショナーキャップボルトを取り外します。
- 5) カムシャフトスプロケットボルトを取り外し、カムチェーンからカムスプロケットを取り外します。この時タイミングチェーンがクランクケース内に脱落しない様に、針金等で結んでおきます。
- 6) カムシャフトを外しやすくする為、カムスプロケットボルトをカムシャフトに仮付けし、カムシャフトを取り外します。

カムシャフトの取り付け

※ノーマルヘッドの製品誤差により、スプリングシート座面部とカムシャフトが干渉する場合、加工が必要です。（カムシャフトの干渉位置図参照）組み立てる前にご確認ください。

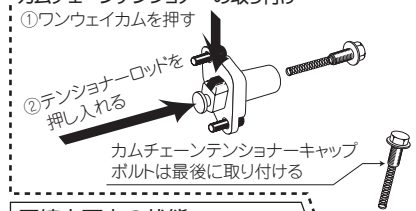
- 1) プライマリーシープを反時計方向に回し、フライホイールの「I」マークをクランクケースの合わせマークに合わせます。
- 2) カムシャフト、カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布してからカムシャフトをシリンダーヘッド内に取り付けます。



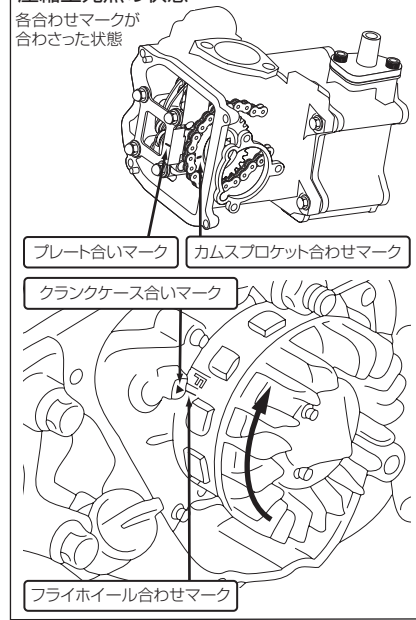
カムシャフトスプロケットの取り付け

- 1) カムシャフトを圧縮上死点位置にし、カムシャフトスプロケットの合いマークがシリンダーヘッド（プレート）の合わせマークに合う様にカムスプロケットにカムチェーンを掛け、カムシャフトに仮付けします。この時、エキゾースト側のチェーンが張る様に組み付けます。
- 2) ワンウェイカムを押し込みながら、テンショナーロッドを押し入れます。押し入れた状態で、テンショナーをシリンダーに取り付けてからスプリングとカムチェーンテンショナーキャップボルトを取り付けて下さい。（カムチェーンテンショナー取付図参照）
- 3) プライマリーシープを反時計方向に回し、ローターの合いマーク「I」とクランクケースの合わせマークを一致させ、圧縮上死点の位置にした時、カムシャフトスプロケットの合いマークがシリンダーヘッドの合わせマークに揃っている事を確認します。一致していない場合は、カムシャフトスプロケットの再組み付けを行います。
- 5) クランクシャフトを固定して、カムシャフトスプロケットボルトを締め付けます。

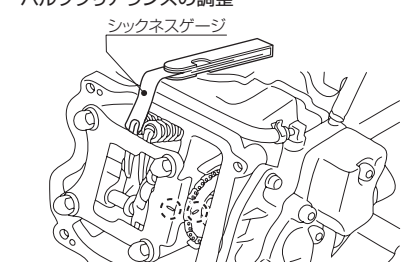
カムチェーンテンショナーの取り付け



圧縮上死点の状態

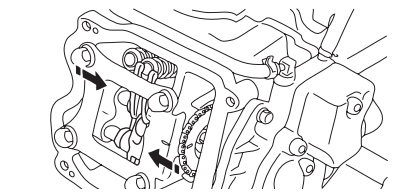


バルブクリアランスの調整



各合わせマークが合わさった状態（圧縮上死点）でクリアランス調整します。

アジャスティングパッドの交換
ロッカーアームとワッシャを横に移動させます。



バルブクリアランスの設定

- 1) プライマリーシープを反時計方向に回し、フライホイールの「I」マークをクランクケースの合わせマークに合わせます。ロッカーアームを動かしてピストン位置が圧縮上死点位置であることを確認します。
- 2) ロッカーアームとアジャスティングパッドの間にシックネスゲージを入れ、インテーク、エキゾーストのバルブクリアランスを点検します。（バルブクリアランス標準値 IN インテーク側：0.10～0.16mm・EX インテーク側：0.18～0.24mm）

調整・交換

- 1) 標準値以外の場合はヤマハ純正サービスマニュアルに記載のアジャスティングパッド選択表に従い、交換作業を行って下さい。
- ※吸気側は左右でも厚みが異なる事があるので注意して下さい。
- 2) ロッカーアームとワッシャを横に移動させます。
- 3) マグネットを利用してアジャスティングパッドを交換して下さい。（グリス塗布）
- 4) 交換後、ロッカーアームとワッシャを元の位置に戻して下さい。